

会員各位

第 76 回日本衛生動物学会西日本支部大会
第 16 回日本衛生動物学会西日本支部例会
WEB 開催のご案内（第 1 報）

大会長 岸本 寿男

第 76 回日本衛生動物学会西日本支部大会を下記の通り開催いたします。今年は新型コロナウイルス感染の再拡大により、会期をやや短縮し、完全 WEB 開催とすることにいたしました。完全無料でございますので、自宅や職場など、近くに接続可能な WEB 環境さえあれば、どなたでもお気軽に参加いただけます。アナウンスが遅くなりましたが、会員各位の多数のご参加をお願い申し上げます。

記

(1) 会 期

2021 年（令和 3 年）10 月 23 日（土）9 時 ～ 16 時（演題数によって変更の可能性あります）

(2) 会 場

一般会員の方々は、基本的には自宅や職場から WEB 参加をして頂く予定ですので、会場は設営いたしません（配信は岡山理科大学 D3 号館から行います）。

(3) 開催方法

開催方法は、Zoom を用いた完全 WEB 開催でございます。参加ご希望の方は、各自の PC の WEB 環境や WEB カメラ・マイクなどについてご確認ください。

発表形式は口頭発表のみで、発表時間は、発表 8 分・質疑 2 分程度を予定しておりますが、演題数により調整を行う予定です。

(4) 参加費

完全無料といたします。

(5) 支部例会

今回は、ちょっと毛色が変わった方向性の特別講演として、兵庫医科大学の夏秋 優 教授による「皮膚寄生虫症妄想」の話を予定しております。このテーマは、精神医療関係者のみで無く、医動物学者から衛生行政、はては殺

虫剤業界まで巻き込む厄介な疾患だそうで、過去、多くの症例を経験してきた、同先生による講演でございます。

(6) 大会シンポジウム

今回のシンポジウムは「動物とヒトとの感染症 -最近の話題から-」という方向性で下記の演者による講演を検討中です。

1. 岡山理科大学獣医学科の鎌田先生に 野生動物に拡大するウイルス感染症
2. 岡山理科大学動物学科の中本先生に コウモリ関連の感染症のレビューを
3. 岡山獣医師会などから犬猫などのペットの SFTS 関連の症例報告を中心に(演者未定)

(7) 参加申込ならびに発表申込

下記の参加・発表申し込み書式に記入の上、e-mail にて下記アドレス宛、**10月9日(土曜日)**までにお送り下さい。

岡山理科大学理学部動物学科

小林 秀司 : skobaya@zool.ous.ac.jp TEL : 086-256-9716

参加申し込みをされた方には、事前に WEB 視聴用の URL とパスコードをメールでお送りします。当日はそのサイトにアクセスすることで大会にご参加いただけます。

(8) 抄録提出

大会終了後、下記の抄録様式にしたがって作成し、e-mail 添付にて下記アドレス宛、**11月6日(土曜日)**までにお送り下さい。(抄録の編集作業が大変煩雑になってきております。そのまま PDF 化できるように規定の様式にしたがった形での提出について、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。)

岡山理科大学理学部動物学科

中本 敦 : nakamoto@zool.ous.ac.jp TEL:086-256-6826

抄録は、pdf ファイルにて、後日メール配信の予定です。参加申込を頂いた方に配信いたします。

(9) 発表用 Power Point ファイル

WEB 発表では、通常、「スライド画面の共有」モード設定により、発表者自身により発表ファイル操作が可能ですが、設定の問題や通信障害(かなり頻繁に起こります)により映らなくなる可能性があります。機器操作に慣れていない方やご心配の方は、予め発表ファイルのデータをお送りくださると安心です。

データの送付は、「宅ふぁいる便」などの大容量ファイル転送サービスを利用するか、DVDを10月9日（土曜日）までにお送り下さい。

DVD 送付先

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町 1-1

岡山理科大学理学部動物学科 中本 敦

nakamoto@zool.ous.ac.jp

TEL:086-256-6826

発表時に使用するパソコンにコピーした演者ファイルは講演終了後、事務局で責任をもって消去いたします。

(参加・発表申し込み書式)

第 76 回日本衛生動物学会西日本支部大会 参加・発表申し込み

- ・参加申し込み日：2021 年 月 日
- ・氏名（所属）：
- ・連絡先住所（電話・email）：
- ・会員種別：（幹事 or 一般会員 or 学生 or 会員外）
- ・演題有無：無・有 演題名

「

- ・そのほか連絡事項等があれば記入して下さい。

(抄録書式 四角内は、演題番号を事務局で記入します。)

和文タイトル
和文発表者氏名(所属) 発表者に○、複数の場合上字¹⁾ ²⁾を使用
英文タイトル
英文発表者(所属不要)を記入

----- 1行空ける -----

抄録本文(段落行1字下げ)

「Microsoft Word の設定」

タイトル、発表者、本文を含めて B5 サイズ一枚に収まるように作成してください。

(余白: 上 25mm、下 36mm、左 24mm、右 24mm、MS 明朝、Century14 **ポイント**。イタリックは下線ではなく斜体表示し、句読点は「, 」 「. 」に統一して下さい。)

作成例 (B5 用紙にて 1 枚)

発熱、下痢、血小板減少、白血球減少を生じたが重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染が否定されたマダニ刺症の 1 例。
○夏秋 優¹⁾, 山西清文¹⁾, 北山嘉隆²⁾, 早川勇二²⁾
(¹⁾ 兵庫医大皮膚科, ²⁾ 明和病院内科)

A case of tick bite with fever, diarrhea, leukocytopenia and thrombocytopenia without positive evidence of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus infection.
Natsuaki, M., Yamanishi, K., Kitayama, Y. and Hayakawa, Y.

症例は 60 代女性。2015 年 7 月に兵庫県内の山間部で農作業を行った翌日に左膝窩にマダニが咬着していることに気付き、自分で除去した。その 2 日後から全身倦怠感, 38℃台の発熱,
.